



## カレンダー

月	日	曜日	作業内容・備考			
5	2	火	植物見て歩き			
	6	土	丸紅の森			
	9	火	鳥観察			
	10	水	水辺チーム			
	11	木	運営会議			
	12	金	丘陵アドプト・平田タイル			
	13	土	桜台子ども工作教室①*1	・フクロウ・ムササビチーム		
	14	日	定例活動日			
	15	月	クラフト勉強会			
	17	水	定例活動日*2			
	19	金	丘陵アドプト・カナエ			
	20	土	丘陵の森			
	21	日	丘陵アドプト・アストラゼネカ			
	23	火	植物見て歩き			
	27	土	AM 定例活動 PM 通常総会*3	・丘陵アドプト・住友ファーマ		
	28	日	里山えんぴつサポート			
6	3	土	丸紅の森			
	4	日	源流の森	・環境フェア*4		
	6	火	植物見て歩き			
	8	木	運営会議			
	10	土	桜台子ども工作教室②*1	・フクロウ・ムササビチーム		
	11	日	定例活動日	・令和5年度里山ボランティア育成入門講座①*5		
	13	火	鳥観察			
	14	水	水辺チーム			
	15	木	第3回きしわだ森づくり交流会*6			
	16	金	丘陵アドプト・カナエ			
	17	土	丘陵の森	・丘陵アドプト・アストラゼネカ		
	18	日	ガールスカウト体験活動サポート			
	19	月	クラフト勉強会			
	21	水	定例活動日			
	24	土	定例活動日			
	25	日	里山えんぴつサポート			
	27	火	植物見て歩き			
7	1	土	丸紅の森	8	土	桜台(常磐)地区子ども工作教室③*1
	4	火	植物見て歩き	8	土	フクロウ・ムササビチーム
	6	木	運営会議	9	日	定例活動日

\* 植物・鳥チームの詳細は、P.8-9をご覧ください。 \*1 今年度も実施します。

\*2 今年度から、第3水曜日も「定例活動日」とします。 \*3・4・6 P.2 参照 \*5 P.3 参照

## 令和5(2023)年度 通常総会開催のお知らせ

日時 令和5(2023)年5月27日(土) (今年度は土曜日開催です)  
13:30より(午前は定例活動を行います)

場所 神於山総合作業小屋前広場  
(雨天時は愛彩ランド楽しい学びの交流館 13:30より)

内容 ・令和4年度事業報告・会計報告  
・令和5年度事業計画・予算(案) (今年度は、役員改選があります。)

\*

- ❁ 正会員の方はご出席をお願いします
- ❁ 正会員の方には議案書を同封しています。目をお通しのうえ総会時にご持参ください
- ❁ やむを得ず出席できない方は、同封の委任状に必要事項を記載の上お出しください  
(5月25日(木)必着。郵便の到着に時間がかかりますのでご注意ください)  
(出席される方は、委任状はそのまま会場へご持参ください)

※ 議案書と一緒に、現時点での名簿を同封しています。ご確認いただき、誤りなどある場合は、上林までご連絡ください。

### 2023年度会費の納入をお願いします。

総会の受付時に2023年度会費の納入をお願いします。活動の際にお納めいただくこともできます。7月号おたより発送時に、未納の方には振込用紙を同封します。

## 5・6月の作業

山頂展望台・まごの森・源流の森一带を、人手をかけて整備したく、5・6月の活動日の2日程を考えています。梅雨入り前には、園路を確認して補修すべきところを実施するよう計画しています。

丘陵地区での各企業のアドプト活動については、日程が確定しています。6月の上・中旬は、体験・対外活動が多く、さらに「里山ボランティア育成講座」が始まります。皆様の協力よろしくお願い致します。

「丸紅の森」については、5月は新エリア、6月は管理竹林周りの整備を予定しています。

### ○6月4日(日) 環境フェア

今年もラパークのキッズプラザで開かれます。

当日は“源流の森”活動と重なりますが参加します。展示中心ということなので、ここ一年の各チーム活動の成果を発表し、神於山の自然のすばらしさをアピールする場とします。例えば、タゴガエルの様子、コバノミツバツツジの分布、ササユリのこと、ミツバチのこと、炭焼のこと等々、展望台からの景色など展示していきたいと思えます。

### ○6月15日(木) 第3回岸和田森づくり活動団体いきもの交流会

岸和田で森づくりを行う団体同士の交流を図ろうと保全くらぶとシャープが呼びかけて始まった岸和田森づくり活動団体いきもの交流会。第3回を、6月15日(木)午後から桜台市民センターとオンラインのハイブリッドで開催します。

## 里山ボランティア育成入門講座がいよいよはじまります!!

2023（令和5）年度は、以下の開催日程で予定通り、はじまります。

5月の岸和田市広報及び岸和田市ホームページで募集要項が掲載されています。又、岸和田市内各公民館や神於山の林道案内板等に募集ポスターを掲示していますので、ご紹介をお願いします、第1回は6月11日（日）スタートです。今回も多くの受講生がこの講座に参加されるよう皆さんの呼びかけが必要です。宜しくお願い致します。（野口）

日程・内容は以下の通りです。

	日 程	内 容
第1回	6月11日（日）	開講式、講義（里山とボランティア）、活動地見学
第2回	7月16日（日）	講義（危険な動植物・安全対策）神於山動植物観察
第3回	8月20日（日）	竹を切る体験（竹ノコギリの使い方）竹クラフト
第4回	9月10日（日）	木を倒す体験（ノコギリで）切った木の活用法
第5回	10月15日（日）	選択的草刈り（カマを使う）神於山の歴史歩き
第6回	11月12日（日）	修了式、講座まとめ、交流会（活動体験と記念植樹）

昨年度講座風景



## 報 告

### 3・4月の活動（作業）

丘陵地区の活動・対外活動が復活し、活動日が多い月となりました。特に3月は丘陵地区での「竹まつり」のイベント会場の竹柵造りに日数を費やしました。4月は例年、筍掘りを午前の作業に必ず取り入れていましたが、今年は筍が不作で収穫は全くと言っていいほどありませんでした。

#### ○定例活動

・3月12日（日）

前回に続きドント焼きを行いました。草広場の1か所のみで行い、刈り取ったネザサに加えて、当日行った藤尾池・林道間の切り落とシツル類も出来るだけ焼却処分しました。管理竹林の東側柵を更新しました。竹林内のシイタケ畑で大きなシイタケが沢山出ていたので、女性陣にてシイタケ狩りを楽しみました。炭焼きチームは、炭材確保のため、水平道横のミズナラを間伐しました。フクロウ・ムササビチームは、巣箱を新しく設置しました。



・ 3月25日（土）

4号園路（修斉の森近く）に横たわっていた倒木を処理しました。栗園内の腐葉土床に園内の落ち葉を集め投入し、攪拌しました。さらに栗園北側一帯のネザサを機械刈りしました。また、当日は丘陵地区のアドプト活動で、池に落ち込んだ倒木を引き上げるために支援活動の別組に加えて、木こり部隊（炭焼きチーム）より2名が作業指導に行きました。



・ 4月9日（日）

午前の筍掘りは、管理竹林、丸紅の森とも全く収穫がありませんでした。藤尾池畔のサクラが、根元から徐々に傾いており、下の大きな枝が通行に支障をきたしてきたので、花が咲き終わったこの時期に思い切って枝を2本切り落としました。太い枝は適当な寸法に切断して、丸太椅子として畔に並べました。また、管理竹林内の枯れ竹・枝が残っていたのを焼却しました。昼食時には「はるごと」として山菜てんぷらを女性陣にて準備・調理して頂き、山の幸を堪能しました。午後からは、「うきうき桜」の張り出した大きな枝の支柱をやり替え、枯れ枝を切り落としました。

・ 4月22日（土）

作業小屋から3号園路への上り口横のマテバシイを、萌芽更新すべく切断しました。栗園の柵の傷んでいるところを補修し、栗の木の子打ちを行いました。また、林道の「国見の森広場」手前の側溝に堆積していた枯木と土砂を取り除き、雨水が流れるようにしました。植物保護用竹杭も沢山作りしました。

## ○丸紅の森活動

・ 3月4日（土）

管理車道下の林の木と竹を伐採しました。木は斜面への日当たりを配慮して、サクラを2本伐採しました。竹は東側尾根付近のものを伐採しました。竹は随分と少なくなりました。午後からは、木に絡まっているツルを取り除きました。最初ツル取りは、要領が得ず、幾度も引っ張っても途中で切れてしまい、尻餅をついていましたが、コツをつかみ反動を利用すれば、上手くとれるようになりました。ツルがなくなった木々は見違える程スッキリしました。



・ 4月1日（土）

今回の活動は、中央の管理竹林内で、午前は筍掘りを、午後は竹の間伐と入口の階段をステップに合わせた段数に増やしました。例年なら取れきれないほど出ている筍が、今年は極端に少なく竹林内を何度も回っても見つかりません。この後も少ないかも・・・

## ○平日活動

・ 3月15日（水）

林道と藤尾池間の斜面のツルを藤尾池側からアプローチして切り取る作業をしました。木にパズルのように絡まったツルを根気よく取り除くのと、かたまりのツルを池側からロープを使って数人で引っ張り、一気に取り除いたりと皆で頑張りました。

昼には、山頂展望図設置の最終現地確認を行いました。

・ 4月19日（水）

雨で少人数の参加でした。午前は筍掘りを！と思っていましたが、管理竹林、丸紅の森とも全く出ていませんでした。9日の定例活動時に伐採した藤尾池畔のサクラの枝を、階段の横木に利用すべく切断しました。午後からも雨が止まなかったため、今後の活動についての話し合いをしました。

## ●ミニ研修会

3月、翌日の竹まつりに出店される、「純国産メンマプロジェクト」の仁尾様に神於山にも来ていただき、伸びすぎたタケノコを使ってのメンマの加工についてお話いただきました。導入部分では竹の利活用の話もあり参考になりました。参加者からは多くの質問が相次ぎ、みなさん興味をそそれられたようでした。



4月は、田口さんより神於山のカエルについてのお話をさせていただきました。神於山にはタゴガエル、シュレーゲルアオガエルが多数とウシガエルが少数生息しており、一般的にカエルと言って想像するアマガエルは確認されていないこと、ヤマアカガエルも生息の可能性はあるものの確認できていないことなどを勉強しました。(上林)

### □ 3月5日(日) 道なき道あるき

今回は、「神於山を北側から南へまっすぐ突き進む」をテーマに歩きました。天気も良く、愛彩ランドに9時半、普通の道では満足できない(?)精鋭9名が集まりました。

国道170号の2号園路入口から入山。1本目の橋を渡ってすぐに右手急斜面の藪へ分け入っていきます。途中、太い倒木があり尾根を越えると3号園路(貯水槽跡)に出ました。園路は歩かず、すぐに南側の斜面を登っていくと、「ころも岩」に行く道に出て「ころも岩」へ。南へ行くには竹林の中の斜面を横切ります。「丸紅の森」に出て少し休憩し、さらに南へ。大谷の急斜面を下りきって川を渡ると登り返して放置竹林に入りそこを突っ切って南へ進むと、「布引山」の少し上の林道に出てきました。お昼になったので、昼食は山頂展望台下で食べました。

[コース]  
愛彩ランド→R170→2号園路(橋から藪に入る)→3号園路(入口近くの貯水槽跡)→ころも岩→丸紅の森(休憩)→大谷→布引山付近林道→山頂展望台(昼食)→布引山(石碑)→神於寺→林道(寺の西側)→意賀美神社からの林道→林道を愛彩ランドへ

昼食後は、「布引山」の石碑南側から「神於寺」へ、今回最難関の急斜面(ほぼ崖?)下り。木につかまりながら、滑りながら下って行きました。下の方に行くとき小さな石で石垣が作ってあり、昔の宿坊の跡か、ミカン畑の跡か? 最後は「神於寺」の池付近の道に出て、北から南への「道なき道」は終了しました。

帰路は「神於寺」西側の林道を登り詰めて竹林の中の道を通り、「意賀美神社」からの林道の途中に出て、その後は林道を「愛彩ランド」まで歩いて下って行きました。

これまで、神於山では方角が分かりにくかったのですが、今回の「道なき道あるき」で、だいたい感覚でつかめるようになりました。普段入らない場所では、大木や珍しい木・草花があり、竹林が侵食していく状況や隠れた石垣など新しい発見がありました。

最後に、翌日ぐらいに伐採される「ウバメガシ地蔵」のウバメガシに、みんなでサヨナラを言って「愛彩ランド」で解散しました。(村瀬)



### □ 3月11日(土) アート・マルシェ

太い竹の節をそのまま利用したマグカップ作りです。自分好みのサイズの竹をのこぎりで切る。そこで竹の上下の区別を節を見て見分ける方法を勉強。子どもたちは意外と小さめのサイズにしていた。大人は2サイズ作っていた。大きいのはビール用かな? 青い皮はナタで落とし、あとはひたすらやすりで磨くのですが、これにかなり時間をついやしていた。でもおかげでつるつるに仕上がりもう満足顔。取手は私たちがつけるのですが、今回用意した竹は肉の厚さが少し薄かったので取り付けるのに時間がかかってしまった(反省)。自分がつくった本当のマイカップとして愛着たっぷりのようでした。(杉原)



## □ 3月18日（土）マッチングマーケット

岸和田市で、子どもと関わる団体や個人の横のつながりを持つとうとの趣旨で第1回が開催されました。各団体が10分の持ち時間で自己紹介をしていく中、まわりでは他の団体が遊びや実演、体験なども行っており、ゆっくり話を聞いたり交流したりできる雰囲気ではなかったことが少し残念でした。保全くらは森のえんぴつ作り体験をし、他団体の子どもたちがたくさん来てくれました。その中で、少し興味を持ってくれた団体もあり、神於山での体験につながればと少しの期待をしています。（上林）

## □ 4月2日（日）ただただ花見

すでにうきうき桜は散ってしまい、作業小屋横のヤマザクラも満開を過ぎていました。12名が参加。前日の丸紅の森でのタケノコ掘りがもう一つだったので、基地竹林のタケノコ掘りをするグループとコバノミツバツツジ（以下“コバちゃん”）の開花調査のグループに分かれて活動……。タケノコ掘りは“ほとんど出てない！”と空振り状態、コバちゃん調査の方は、“見はらし台”から登っていくと、いつものところのコバちゃんがお出迎えです。咲いている本数は昨年よりも少なかったものの、枝の花、色つきはまさっていました。特に林道沿いが鮮やかになり、本数も増えていました。確認できた開花コバノミツバツツジの株数は110株でした。



一番みごとな株は、例年どおり、東尾根コースのコバちゃんでした。（田口）

## □ 4月9日（日）春ごと（野草の天ぷら）

コロナ感染防止のため、“ぜんざい”や“豚汁”などのおたのしみ活動を自粛していましたが、“野草の天ぷら”だけは量や種類を減らしたりビュッフェ式を止めたり気を配りながら続けてきました。

今年は新会員も多いので、初めて経験されるはずの人も多かったのですが、実施の決定をするのが遅れ、おたよりでお知らせできなかったのが、出席者が若干少なかったのが残念でした。



どくだみ・蓬・蕨・みつ葉・お茶の新芽・ごごみ・こしあぶら・蕨などなど……。

その中で「一番おいしかったのは？」「よもぎ！」「ごごみ！」「こしあぶら！」……やはり山菜の王様とされているのは人気がありますね。

気候の変化に伴って野草の生長が早くなってきているので、もう少し早くしたらどうか？という声も聞かれました。（宮脇）

## 展望図設置完了！！

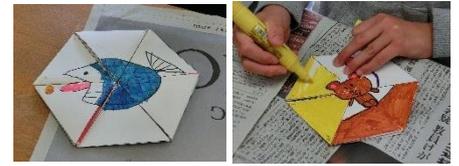
3月に展望台のパノラマ展望図2か所設置完了しました。ハイカーも頂上からの展望で位置がわかり、より一層爽快感を味わえるでしょう。今後逆に展望図に応えられるよう整備を心がけていきたいです。2022年度第Ⅱ期は無事完了しました。（説明板13か所と展望図）2023年度第Ⅲ期はまごの森から修齊の森、源流の森へと一連した“森”を整備したいと思います。そのための道具に助成金を活用したいです。（杉原）



## ☆ 2022 年度桜台子ども工作終了

22 年度は 5 月スタートで 9 回、“桜台子ども工作”を月 1 回のペースで担当しました。小学校 2 年～4 年生 14 人が対象で、5 月・名札、工作台作り、6 月・竹と紙のササユリ、7 月・竹のカニ、8 月・竹のハシ、9 月・紙クラフト・鳥、11 月・ソリサンタとモミノキ、12 月・干支うさぎとミニ門松、1 月・ワリバシの飾り棚、3 月・ヘキサゴン（六角形の紙のマジック）をしました。

一年間の感想を聞いたら“色気がなかった！”と言われ、ジイサン・バアサンは一瞬どうしようと思ったものの、よく聞くと、カラフルでなかったということの様、枯竹のカニより、赤いカニの方がいいということの様でした。

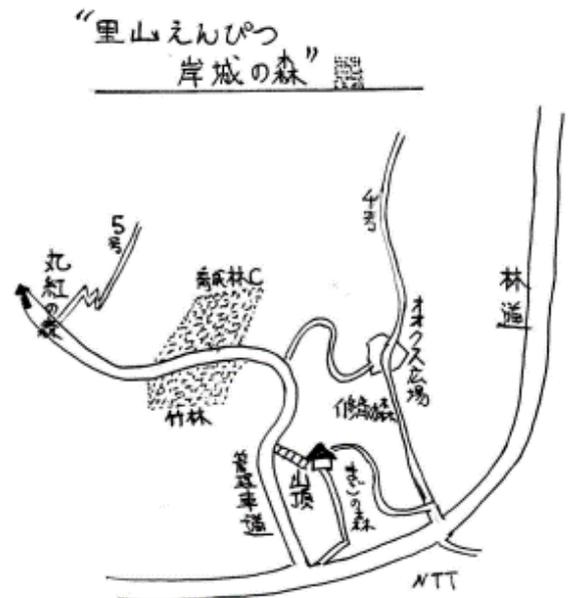


23 年度も 5 月から始まります。子ども達の鮮やかな色で作れるものを考えます。（田口）

## ☆ 『里山えんぴつ岸城の森』

第 141 号のおたよりに活動報告が載りましたが、ここまでの経過をお知らせします。これまで“里山えんぴつ”と“岸城町北町会”の体験活動をサポートして来ましたが、12 月から『里山えんぴつ岸城の森』とエリアを設定し(図)、独自の活動をスタートされました。両活動に参加されているメンバーが主体となって活動されます。このエリアは、神於山保全クラブの活動エリア“育成林 C”としてしているところとその北側の竹林で市有地です。管理上は、神於山保全クラブの管理下の活動という位置づけです。

月 1 回第 4 日曜日に活動されるので、クラブとしては、自主的に運営される活動を一層、活発に、安全にすすめられるようサポートすることになります。子どもたちに元気ももらいながら応援していきましょう。（興味のある人、参加して下さい！！）（田口）



## 丘陵地区の動き

### ○竹まつり

3 月 26 日(日)、第 1 回竹まつりが開催されました。あいにくの雨の中でのイベントになりましたが、770 人の参加となりました。昨年の蜻蛉池公園でのイベントを引き継ぎ、滋賀県立大生達の作った竹ステージを移転させ、その他の構造物とあわせてセットしたり、私たちはアストラゼネカさんと協力して竹柵を設置する取り組みもしたりしました。

場所は、商業地域に隣接し、住宅地域にも近く、人と関わる自然エリアになっていくだろうと思われるエリアです。今後、丘陵地区“ゆめみヶ丘”がどうなっていくのかを考える時、この“竹まつり”を“どんな力”で“だれが”担っていくのかは、大きな課題となります。それを動かしていこうと始めるきっかけとなる“第 1 回竹まつり”であったと思います。第 1 回を踏まえ、2 回、3 回と続けていくことが求められています。

## ○タケノコ掘

今年はタケノコの出が悪いようですが

- ・4月8日(土) 平田タイル まち協企業さんのイベント
- ・4月15日(土) まち協居住者さん (雨のため16日に延期)、アストラゼネカ (雨のため中止)
- ・4月22日(土) 住友ファーマ活動

がありました。

## ○丘陵アドプト

- ・アストラゼネカ (3月は雨で中止、4/23)
- ・住友ファーマ (3/25、4/22)
- ・カナエ (3/17、4/14)
- ・平田タイル (4/8、4/14)

それぞれのアドプト活動、活発に動き出しました。(田口)



# チーム活動報告

## □ クラフトチーム

3月は、作業小屋にストックされている材料の整理と、竹まつりの準備、使う竹の魚つりを用意しました。PMは竹まつり会場へ行き、竹柵の残り部分を作り、なんとか完成させました。

4月は、桜台子ども工作の一年間をふりかえり、23年度を考えました。その後、竹のスプーンを思い思いのサイズ、形で作りしました。(田口)



## □ 植物・鳥チーム

<植物>

寒かった冬が終わり今年も春が巡って来て3月になってオオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、カラスノエンドウ、ハコベ、タンポポなどの草花が一面に咲き揃い例年より1週間から10日も早くウキウキ桜、オオシマザクラ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、カスミザクラ、ウワミズザクラと昼は暖かく夜間が冷え込んだので長く桜を楽しみました。コバノミツバツツジ、ヤマツツジ、次々と花が咲き春爛漫でした。今年はヤブツバキの花の赤が綺麗でした。(吉田)



<鳥>

冬鳥はそろそろ北へ向かう時期ではあるが三月の観察会ではルリビタキに出会えた。今季 最後だろう。

四月の観察会は鳥のさえずりも少なくシジュウカラ、メジロ、コゲラ等いつも出会う鳥しか観察できなかった。夏鳥の飛来が待ち遠しい。(都田)

## <今後の予定>

5月			6月			7月		
2日	(火)	自然観察会 (植物)	6日	(火)	自然観察会 (植物)	4日	(火)	自然観察会 (植物)
9日	(火)	自然観察会 (鳥)	13日	(火)	自然観察会 (鳥)	11日	(火)	自然観察会 (鳥)
23日	(火)	自然観察会 (植物)	27日	(火)	自然観察会 (植物)	25日	(火)	自然観察会 (植物)

- ・ 集合場所：愛彩ランド自転車置き場
- ・ 時刻：午前 9 時～午後 3 時頃まで
- ・ 持ち物：弁当、飲料水、雨具、敷物、ルーペ、双眼鏡、筆記用具、他必要と思う物
- \* 当日の午前 8 時頃の天気予報で、降水確率 50%以上で中止（自己判断でお願いします）
- \* 一般の方の参加は、事前申し込み不要、参加費無料、傷害保険には加入しません

## □ 炭焼チーム

2 月に焼いた炭は、いい炭が出来ました。

3 月に焼いた炭は、さらにいい炭を焼こうと空気の量を絞すぎたのか、うまく温度が上がらずに窯を閉じることになってしまいました。窯内部の状態がどうなっているのか早く知りたいので、5 月にもう一度、炭焼きをすることにしました。

【活動報告】 3/12（日） 水平道の上のクヌギを 3 本伐採。炭材作り。

3/19（日） 【特別活動】 炭窯の入れ替え（炭→炭材）を行い次回火入れの準備をする。

3/25（土） 8 時に集合し火入れ作業開始。（27 日夕方窯を閉じる）

4/9（日） 水平道から上に上ったところの少し太いくヌギを 1 本伐採。チルホールを使い、他のひこばえの若い木を折らないように安全に引き倒した。

4/22（土） 炭材作り。70 センチの長さに玉切り。太い幹はハンマー・くさびで割って炭材を作る。上げ木を作る。

【5 月・6 月活動予定】 ・ 5 月も炭焼きをします。

・ 以降、出来た炭の炭切や木酢液の整理をします。

（村瀬）

## □ 水辺チーム

3 月は、藤尾池の生きものチェック。まだ動くものなし。シャープ・住友ゴム下の湿地、大谷の源流部を“アカガエル”が 3 月頃から動くという情報を受け、見てまわるが気配なし。シュレーゲルアオガエルの声も聞けず。

4 月は、藤尾池の生きものチェック。前月より、アメンボ等動き出しているのが確認できた。シュレーゲルアオガエルも、チェックしている対岸から小さな声を何度か確認。2 号園路を下り、国道近くになるとシュレーゲルの声、多くなり、3 号入口、スズサイコの池あたりで複数の元気な声が聞こえる。ちょうど居合わせた、地主の T さんの許可を得て、鳴いているところへ行ってみる。かつての段々の田畑の跡のような場所、ため池も 2 つある。ここが毎年、シュレが元気よく鳴いている場所の様だ。しかし確認は声のみ。

5 月から、タゴガエルの元気な鳴き声が聞こえる。（田口）



## □ 竹林・シイタケ/栗林チーム

竹林の筍シーズンでしたが、今年是不作と言うより凶作でした。F さん曰く「神於山での活動を 20 年近くやっているが、こんな不作は初めて！」とのこと。貝塚の友人の竹林も不作で、この近辺は裏年のようです。来年の豊作を期待して、しっかりと手入れすべく、東側の柵を全面やり替えました。

シイタケは収穫が落ちていますが、雨待ちの状況です。

栗林は、イノシシに備え柵を全周チェックし、補修の必要なところは全て手直ししました。また、林内の落ち葉を回収して腐葉土作成穴に投入して攪拌しておきました。近いうちに下草刈りを行います。協力よろしくお願い致します。（井阪）



## □ みつばちチーム

朗報です！営巣されました。草広場に追加設置した新しい巣箱に、4月12日に営巣されているとTさんより連絡がありました。その後、幾度も確認していますが、働きバチが頻繁に出入りしています。営巣の前日の11日に、キンリョウヘン（蘭の1種）の花が咲いたので、巣箱の横に設置していましたが、効果があつたようです。これより、4月27日にキンリョウヘンを栗林内の巣箱横に移すと共に、2基の巣箱を再度手入れ（誘因液の吹き付け・蜜蝋の巣箱出入り口周りへの焼き付け）を行いました。期待しつつ見守ります。（井阪）

みつばち集団



## □ フクロウ・ムササビチーム

3/11（土）

フクロウ・ムササビチームで初めての巣箱フクロウ1とムササビ1降ろし作り変えた。フクロウ1の巣箱は、取り付けた竹梯子を撤去して巣箱を外して、穴を6cmから9cmに変更した。周辺でのフィールドサインおよびトレイルカメラ反応は無かったので再設置は保留している。

フクロウ1はスギの材料を基に少し、以前のものは白っぽく見え、取付場所がよく見えていたため、不評であり、トレイルカメラでは、何も近寄らないため、作り変えて場所を移し替えることにした。板の表面はバーナーで焦げ色をつけた。場所は、以前のケヤキから更に奥まった場所に移し、目立たなくなった。トレイルカメラで監視した。

ムササビ1（1?）は、前にフィールドサインが唯一見られたので、巣箱に杉皮を張り、取付直した。その後のトレイルカメラには、大型の鳥の羽が映り、よく見ると猛禽類か、フクロウがムササビを追い散らしているか？

4/08（土）

3月のトレイルカメラには、ムササビの姿が確認されなかった。シャープの森の状況では、3月にフクロウの巣箱付近ではムササビが見られなくなり、フクロウが威嚇しているとのことだが、更に南側奥に取り付けたムササビの巣箱に現れ、トレイルカメラにその映像が映っていた模様とのことから、その場所から林道を挟んだ見晴らし台と4号園路の源流の森付近の2か所に巣箱を設置した。特に見晴らし台はシャープのムササビが来た巣箱に最も近いため、期待できる。この設置個所の樹の周辺のネザサを刈り、フィールドサインを見つけやすくする。

巣箱ムササビ5  
設置見晴らし台



### 追悼

元理事長の相良長昭様が、去る2023年3月2日にお亡くなりになりました。謹んで御冥福をお祈り申し上げます。

相良様には、初代理事長を務めていただき、当くらぶの発展に多大なる御尽力をたまわりました。本当にありがとうございました。

これからも相良様の思いを受け継ぎ、活動を続けてまいります。

## 加入している保険内容のお知らせ

特定非営利活動法人「神於山保全くらぶ」が加入している保険は、「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」の「NPO 活動総合保険」です。以下は加入内容です。

保険期間：2023年4月1日～2024年3月31日

補償項目			保険金額・支払限度額		保険料	
基本契約	賠償責任保険	賠償責任 (免責金額なし)	身体財物共通	1事故・保険期間中	2億円	35,300円
			管理財物	1事故・保険期間中	50万円(現金は10万円)	
			人格権侵害	1名(1事故・保険期間中)	50万円(100万円)	
		事故対応費用	1事故・保険期間中	500万円		
		見舞い費用	死亡		50万円	
	後遺障害			2万円～50万円		
	入院日数に応じて2～10万円/通院日数に応じて1～5万円					
	傷害保険	死亡保険金額	500万円		96,474円	
		後遺障害保険金	500万円～20万円			
		入院保険金日額	5,000円			
手術保険金額		入院保険金日額の5・10倍				
通院保険日額		3,000円				
					<b>計 131,774円</b>	

☆賠償責任保険は、活動中に会員以外の第三者（一般通行人やイベントに参加した人などが対象で、体験活動の参加者などは対象外）に対してケガをさせたり、物（車やメガネなど）を壊したりした時に補償されます。

☆傷害保険は、会員が作業中にケガをした時に補償がある保険です。（熱中症は適用外）

保険に加入はしていますが、事故に遭わない事がなによりです。以下のことを守って、事故なく、元気に作業しましょう！！

- ◇ 準備運動（ラジオ体操とストレッチ）は必ずやる。（特に冬は念入りに）遅れた人は自分でやる。
- ◇ 前日の寝不足、体調不良の時は無理な活動をしない。
- ◇ 必ず複数で作業をすること。（事故時に迅速な対応が可能）
- ◇ 活動中のヘルメット着用は必須。今後、台風やカシナガで、枯死した樹の落枝事故も予想される。
- ◇ 夏場の水分補給はこまめにすること。また、お茶などは多い目に持ってくる。
- ◇ 冬でも熱中症（脱水状態）になります。必ず水分をとりましょう。
- ◇ マダニ、スズメバチやヘビ（マムシ）対策は、服装・行動などで怠りなく。（保険適用です）
- ◇ 活動場所（神於山）への往復も交通事故など要注意！！（保険適用ですが、寄り道をすると無効です）

それでも万が一事故に遭ったら……

- ◇ 側にいる人に必ず声をかけましょう。そして、事故の状況を詳しく報告してください。
  - ◇ 通院・入院することになったときは、必ず吉本に連絡をお願いします。
- ※ 事故証明の関係で、個人的に勝手に一人で活動した場合、保険適用されない場合がありますのでご注意ください。

※保険についての疑問や詳細は、吉本(房)までお問い合わせ下さい。

## 神於山と私

兵埜 幸子

「これ面白そう！やってみたいな！」と、軽〜い気持ちで申し込んだ里ボラ講座。神於山との出会いです。「何と読む山？どこにあるんやろ？」本当に何も知りませんでした。仕事をやめたらする事がないし、岸和田に友だちも少ないし、暮らしながら地元のことを何も分かっていなかったの、少しでも役に立てたら嬉しいなという気持ちからでした。

講座を受け、里山は人の手が入ってこそ維持できている山であることを知り、即入会しました。講座の先生が「山に来ると空気が美味しい！作業の後のご飯が美味しい！緑の中で心も体も元気になりますよ！」と言われたとおり、今は神於山の魅力に、保全活動の楽しさにどっぴりはまっています。また植物や鳥のこと、野草の料理の仕方、自然の材料を使ったクラフト等、先輩の方々に一つ一つ教えてもらって山の楽しみ方まで増えてきました。

この頃は、造られたきれいな公園や施設の中で遊ぶ子どもたちが多いです。だけど、季節を感じ様々な動植物がいる身近な自然の中で遊んでほしいな。そこに居ると人間は元気になれることを感じてほしいなと思います。子どもからシニアまでみんなが楽しめる山になるよう、活動を続けていきたいです。

## 活動の記録(3・4月)

### 3月

1日(水)	定点撮影	1名
4日(土)	丸紅の森	14名
	丘陵まち協環境部会	2名
5日(日)	道なき道あるき	9名
7日(火)	植物・鳥チーム	6名
8日(水)	水辺チーム	4名
9日(木)	運営会議	14名
11日(土)	フクロウ・ムササビチーム	6名
	桜台子ども工作⑨	12名
	アート・マルシェ	10名
12日(日)	定例活動日	37名
13日(月)	平田タイル打ち合わせ	2名(2人)
14日(火)	植物・鳥チーム	8名
15日(水)	平日活動日	10名
17日(金)	丘陵アドプト・カナエ	4名
18日(土)	丘陵の森	6名
	きしわだマッチングマーケット	3名
19日(日)	炭焼チーム	6名
20日(月)	クラフト勉強会	14名
23日(木)	シカ対策研修	2名
25日(土)	定例活動日	34名
	丘陵アドプト・住友ファーマ	3名
26日(日)	第1回竹まつり	15名
27日(月)	竹まつり片付け	3名
28日(火)	植物・鳥チーム	6名(1人)
29日(水)	丘陵地区環境モニタリング委員会	3名

### 4月

1日(土)	丸紅の森	17名
2日(日)	ただただ花見の日	12名
4日(火)	植物・鳥チーム	5名
6日(木)	運営会議	14名
8日(土)	丘陵アドプト・平田・タケノコ	
	丘陵イベントタケノコ掘り	6名(35人)
	フクロウ・ムササビチーム	6名
9日(日)	定例活動日	37名
	里山えんぴつサポート	
11日(火)	植物・鳥チーム	9名
12日(水)	水辺チーム	4名
14日(金)	丘陵アドプト・カナエ	3名
	丘陵アドプト・平田タイル	4名
16日(日)	丸紅有志タケノコ掘り	9名(8人)
17日(月)	クラフト勉強会	14名
19日(水)	平日活動日	6名
21日(金)	まち協環境部会	1名
22日(土)	定例活動日	33名
	丘陵アドプト・住友ファーマ	7名
23日(日)	里山えんぴつサポート	5名(30人)
28日(金)	読売新聞取材	1名